



「ニューノーマルに向けた起動—コロナショックによる不可逆的な変化に備える—」 連続セミナーの開催について

【問合せ】大阪商工会議所 国際部（笹本・長尾）
TEL：06-6944-6411

- 大阪商工会議所は、連続セミナー「ニューノーマルに向けた起動—コロナショックによる不可逆的な変化に備える—」を6月18日から実施する。
- 本セミナーは、コロナショック以降に生まれつつある短期的な変化を把握し、ニューノーマルの輪郭をつかむとともに、各分野において中期的に取り組まなければならない課題を整理し、今後のビジネスのあり方についての先見性を養うことを目的に開催。
- 6月18日に開催するキックオフセミナーでは、キーノートスピーチとして、ボストン コンサルティンググループ(BCG) 日本共同代表の内田有希昌氏から、コロナショックが世界経済と企業活動に与える影響と今後のシナリオ、短期的・中期的に起こりうる変化、いま企業が取り組むべきこと等について紹介する。続いて、タイで自動車部品の製造を手掛ける大手企業 Sanoh Industries (Thailand) Co.,Ltd.社長の怒和邦善氏、テクノロジーを活用した物流の最適化プラットフォームを提供するスタートアップ株式会社 Hacobu Executive Advisor 野田和伸氏、東南アジアでの日系企業の国際法務を支援する長島・大野・常松法律事務所シンガポール・オフィス代表弁護士の福井信雄氏らを交えて、パネルディスカッションを行う。
- キックオフセミナー以降は、順次「イノベーション」「人材マネジメント」「マーケットの変容」「サプライチェーンの再構築」等のテーマ別のセミナー&ディスカッションを開催する。初回は、「イノベーション」をテーマに、我が国よりも深刻なコロナショックの影響を受ける北米で、スタートアップを育成する機関等から、ニューノーマルの中におけるオープン・イノベーションのあり方を考えるセミナー&ディスカッションを7月に開催予定。

キックオフセミナー概要

【ニューノーマルに向けた起動—コロナショックによる不可逆的な変化に備える—】

1.日 時：2020年6月18日(木)16:00～18:30

2.配信方法：YouTube Live によるオンラインセミナー(予定)

3.対 象：コロナショックにより生じる変化の兆しをつかみたい企業
海外製造拠点が直面する課題(人事・調達など)について知りたい企業
社会、環境との調和を前提に成長したい企業
DXやデジタルライゼーションへの取り組みを進めたい企業
消費者・生活者の新たな行動・価値観を理解したい企業

4.開催趣旨:

コロナショックは、グローバルに広がったサプライチェーンに見直しを迫り、あらゆる組織に対して、インプット・意思決定・アウトプットの高速化と効率化に拍車をかけるとともに、生活者のライフスタイル、働き手のワークスタイルに不可逆的な変化をもたらし、「ニューノーマル(新しい常態)」として定着しようとしている。こうした変化は、特定地域に限定されることなくグローバルレベルで進み、健康や環境への配慮、格差の是正などSDGsに象徴される価値観や、デジタルテクノロジーを起点とした組織運営と事業戦略の大転換(=DX・デジタルトランスフォーメーション)といったメガトレンドを加速させる。多くの企業は、漸進的な改革の時間を与えられず、厳しい経営環境を乗り越えるための短期的な取り組みを求められると同時に、世界各地の企業の変化に後れを取ることなく、非連続な変革への準備を一体的に進めなければならない。そこで、同連続セミナーを開催し、今後の中長期的課題やビジネスのあり方について検討する。

5.定 員:なし

6.参加費:無料(要事前申込)

7.主 催:大阪商工会議所

8.申し込み:<http://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/202005/D11200618018.html>

9.プログラム:

キーノートスピーチ[16:00-16:45]

「コロナショックに対する先見」

ポストン コンサルティング グループ(BCG) 日本共同代表

内田 有希昌 氏

パネルディスカッション[16:50-18:30]

パネリスト: Sanoh Industries (Thailand) Co.,Ltd President

怒和 邦善 氏

長島・大野・常松法律事務所 シンガポール・オフィス代表 弁護士

福井 信雄 氏

株式会社 Hacobu Executive Advisor

野田 和伸 氏

※リテール部門からの登壇者を調整中

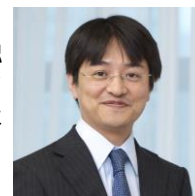
モデレーター: ポストン コンサルティング グループ(BCG) 日本共同代表

内田 有希昌 氏

10.登壇者:

内田 有希昌 氏(ポストン コンサルティング グループ 日本共同代表)

株式会社三和銀行(現三菱UFJフィナンシャル・グループ)を経て1998年にBCGに入社。BCG金融グループの日本リーダー、ハイテク・メディア・通信グループのコアメンバー。金融、保険、通信、ハイテク、消費財、運輸などの業界の企業に対してコーポレート戦略、事業戦略、マーケティング、新規事業構築、アライアンスなどに関わる支援を行っている。



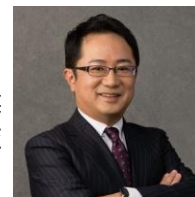
怒和 邦善 氏(Sanoh Industries (Thailand) Co.,Ltd President)

1982年東京理科大学経営工学科卒業後、東洋工業株式会社(現マツダ株式会社)に入社。1992年、マツダ株式会社のタイCKD工場に品質管理部門GMとしてタイ赴任。1997年、マツダ株式会社と米フォード・モーターによる合弁会社(Auto Alliance Thailand)に転任。2001年3月、マツダ株式会社を退職後、世界22カ国に拠点を展開し、車両配管やパワートレインを手掛ける三桜工業株式会社に転職し、現職に至る。1998年に設立されたタイ国チョンブリ・ラヨン日本人会(以下CRJA)にて会長職(2009年~2015年)を務めるなど献身的に活動し、会員交流・地域交流・邦人の安全確保等に努める。



野田 和伸 氏(株式会社 Hacobu Executive Advisor)

アクセンチュア株式会社において24年以上のコンサルティング経験を有する。業務領域は、営業・マーケティング・サプライチェーン・会計・人事・IT、クライアントは自動車・消費財・小売・不動産・運輸・物流・旅行・人材サービス・通信・ハイテク等の幅広い業界を担当。直近7年間は運輸・物流・旅行業界統括マネジング・ディレクターとしてPL責任を担う。Hacobuの業界・企業を跨いだデジタル物流変革に共感し参画。



福井 信雄 氏(長島・大野・常松法律事務所 シンガポール・オフィス代表 弁護士)

2001年東京大学法学部卒業、2009年デューク大学ロースクール卒業(LL.M.)。2009年から2010年まで、Haynes and Boone LLP (Dallas)に勤務し、2010年から2013年10月まで、Widyawan & Partners (Jakarta)に勤務。現在は、長島・大野・常松法律事務所シンガポール・オフィスを拠点に日本企業のインドネシアを含む東南アジアでの事業の立ち上げや現地企業の買収、既進出企業の現地での日々のオペレーションに伴う法務面の支援を行っている。



以上